



# いずみさの昔と今 第257回

## 「大木遺跡(長福寺跡)」

泉佐野市の地には、鎌倉時代から戦国時代にかけて、日根荘という広大な荘園があったことはよく知られています。日根荘は、名門貴族であった九条家によって、天福2(1234)年に立荘されました。宮内庁所蔵の「日根荘日根野村荒野開発絵図」はその開発に先立って作成された絵図です。荘園の範囲は現在の泉佐野市域の大半を占め、九条家の財政の一部を支えていました。日根荘の名を特に有名にしているのが、戦国時代前半の一時期に、荘園領主として直接経営を行った九条政基です。

この頃の日根荘は、新たに台頭してきた武家や寺社勢力によって荘園内の多くの土地が実効支配され、九条家の直接支配が及ぶ地域は日根野村、入山田村などに限られていました。政基は身の安全のために、山深い入山田村の地にある長福寺を政所(役所)と定めて政務を行うとともに、生活の場としていました。そして文亀元(1501)年から永正元(1504)年にかけての在荘中に、詳細な日記を書

き残しました。この日記が宮内庁所蔵の「政基公旅引付」です。荘園経営の権利をめぐる諸勢力との駆け引きや、当時の農民の暮らしぶりなどが生き生きと描かれていて、荘園研究でたいへん重要な史料になっています。政基が滞在した長福寺は現存しませんが、平成15年に大木地区の圃場整備に伴って発掘調査された大木遺跡が、長福寺跡であったことがわかりました。大木遺跡は樫井川左岸の狭小な段丘面上に立地しています。調査では堂に伴う石敷、苑池、井戸などの遺構のほか、骨製装飾品、青銅製飾り金具、鉄製錠前、碁石などの特殊な遺物も見つかっています。出土遺物の分析などから、長福寺は南北朝の終わりと

ごろに建立され、室町時代に最盛期を迎えましたが、江戸時代の初めに衰退したことがわかりました。政基が日根荘に滞在した時期は、ちょうど長福寺の最盛期にあたります。泉佐野市では歴史的景観14カ所が、日根荘遺跡として平成10年に国史跡の指定を受けていますが、この発

掘調査の成果から、長福寺跡も平成17年に追加指定されました。荘園の復興を願った九条政基は、日根荘を去った12年後、永正13(1516)年に72歳の生涯を閉じました。九条家が支配した中世的な荘園世界は、政基の思いとは裏腹に時代の流れとともに、間もなく終わりを告げ、長福寺もまたその役目を終えたのでした。



▶長福寺跡の堂跡と苑池

レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの ☎469-7140 Fax469-7141 休館日 月曜日、祝日(祝日が月曜日の場合はその翌日、日曜日の場合はその翌々日) 開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 入館料 無料

### 土曜れきし館ワークショップ

#### 大きな紙で折り紙! 「かぶと」をつくろう

～大きな紙で折ったら迫力満点!～

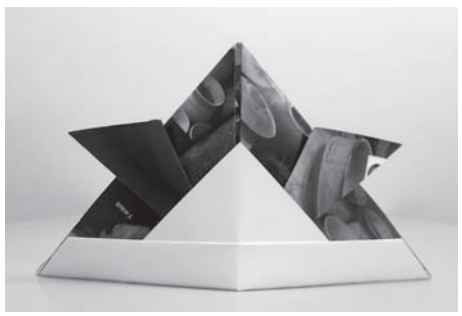
大きな折り紙で「かぶと」を作ります。他にも、大きな折り紙でいろんなものを作ってみよう。

日時 5月20日(土)  
午後2時～3時30分(最終受付)

場所 レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの

定員 10人(先着順)

※申込不要、参加無料。未就学児は保護者同伴で

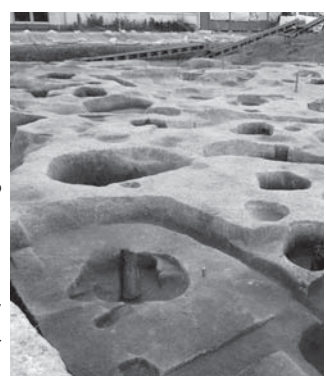


### 春季特別展講演会

【第1回 歴史考古学の世界 シリーズ「古代の都と寺々」「わかってきた『飛鳥の都』の姿」】  
開催日 5月13日(土)  
講師 田邊征夫(館長)

【第2回 泉佐野の遺跡】  
開催日 6月10日(土)  
講師 西村 歩(副館長)

いずれも  
時間 午後1時30分～3時(受付:1時～)  
定員 60人(先着順)  
場所・申込・問合先  
電話または直接レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさのへ  
※受講無料



◀日根郡衙の正倉と推定される 諸目遺跡の遺構(奈良時代)

◆春季特別展 展示解説  
日時 5月13日(土) 午後3時～